

**産業印刷  
事業**

**2019年4月11日**

**株式会社リコー**

**IP事業本部 事業本部長**

**森田 哲也**

# 成長戦略「リコー挑戦」

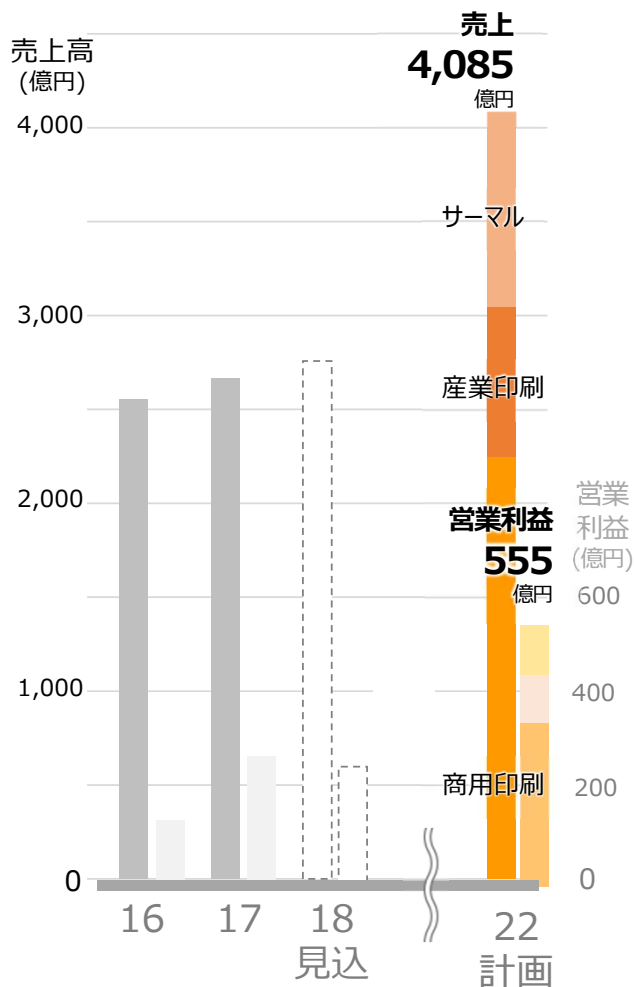


\*AM: Additive Manufacturing

# 2022年度に向けた考え方

成長戦略  
1

RICOH  
imagine. change.



## 2022年度に向けた成長戦略 1 の考え方

### 商用印刷事業・サーマル事業の収益拡大と積極投資による産業印刷事業の成長

**商用印刷事業**：基幹印刷、企業内印刷、商用印刷など、市場の様々なニーズに対応するソリューションを拡充し、お客様と印刷ビジネスを支え、お客様とともに成長を目指す

**産業印刷事業**：「デジタルマイクロファクトリーの実現」により、お客様の提供価値拡大と環境負荷軽減を両立し、新しい産業印刷の未来を切り開く

**サーマル事業**：既存事業で競争優位性を生かし、収益の最大化を図るとともに、新規事業の立ち上げにより事業拡大し、営業利益率10%以上を目指す

# 産業印刷事業概要 (商品概要)

## 産業印刷事業

“安心安全な衣・食・住のグローバル環境”をリードする様々な産業印刷ソリューションを提供

### プリントヘッド/インク

産業印刷のお客様の様々な要望に対応するインクジェットヘッドラインアップと産業用インクを提供

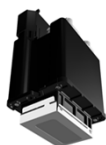
<主な製品>



**GHシリーズ**  
オフィスプリンタ・フォトプリンタ  
向け低コスト小型ヘッド



**MHシリーズ**  
高耐久・高性能・高粘度インク向けヘッド。産業用UV市場でNo.1シェア



**THシリーズ**  
シリコンMEMS型低コスト産業用途向け高性能ヘッド



**産業用途インク**  
高密着・高発色UVインク、高安全・高画質Latexインク等

### 産業プリンタ

DTG向けプリンタ、\*1 装飾・加飾/サイングラフィック向けワイドフォーマットプリンタなどを提供

<主な製品>



小型DTGプリンタ  
**RICOH Ri 100**



プロ向けDTGプリンタ  
**RICOH Ri 6000**



サイングラフィック向けプリンタ  
**RICOH Pro L5160**



装飾・加飾向けプリンタ  
**RICOH Pro T7210**

### 作像システム

FAベンダー/システムインテグレータ等と連携しながら、刺繍機・壁紙・フローリング等の産業インクジェット印刷システム向け作像システムを提供

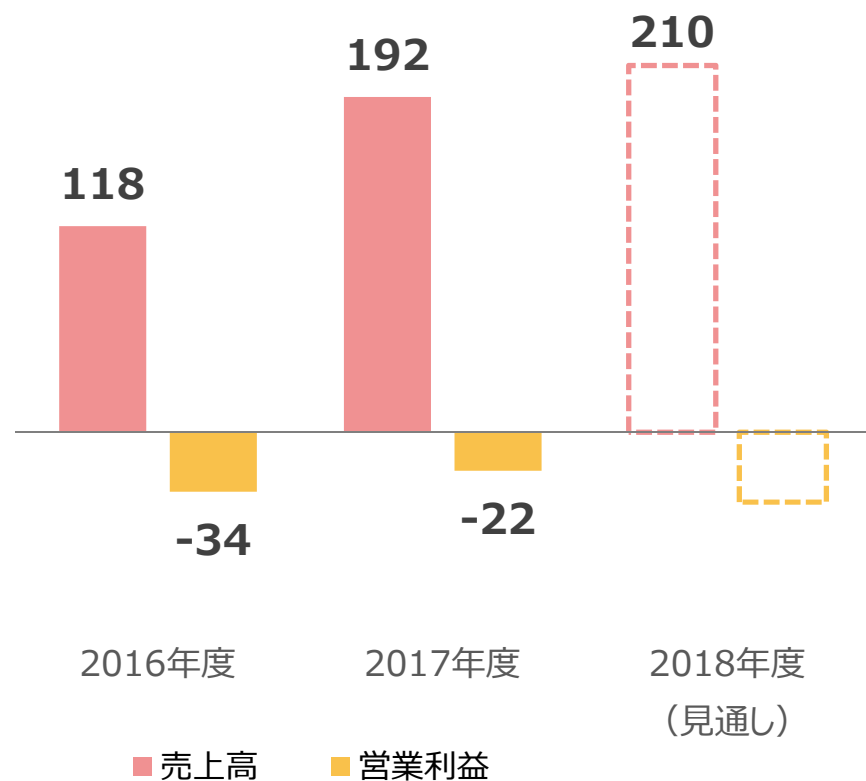


\*1 : DTG: Direct to Garment (衣類に直接プリントできる印刷機械)

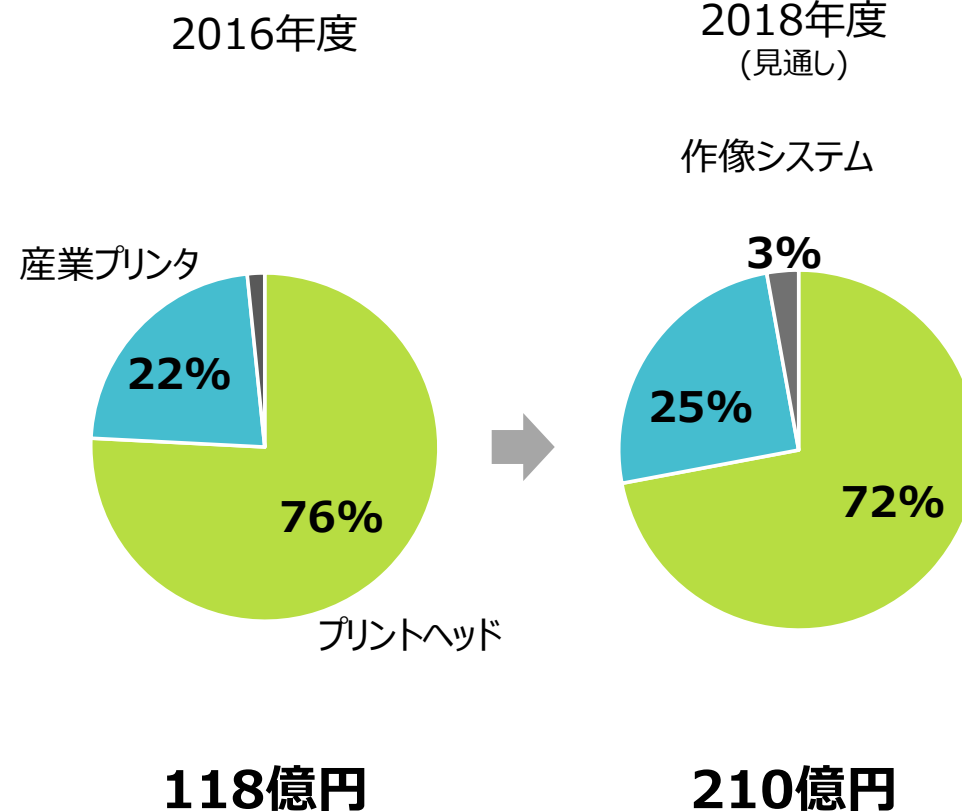
# 産業印刷事業概要 (業績推移)

## 業績推移

(億円)



## 売上構成



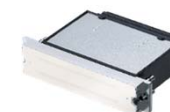
# プリントヘッド/インク (事業戦略)



**RICOH**  
imagine. change.

<b>主要 事業戦略</b>	<b>中国市場No.1の維持・拡大に加えて、シリコン薄膜ヘッドによる 事業拡大</b>	2022年度 売上高目標：300億円～
--------------------	---	------------------------

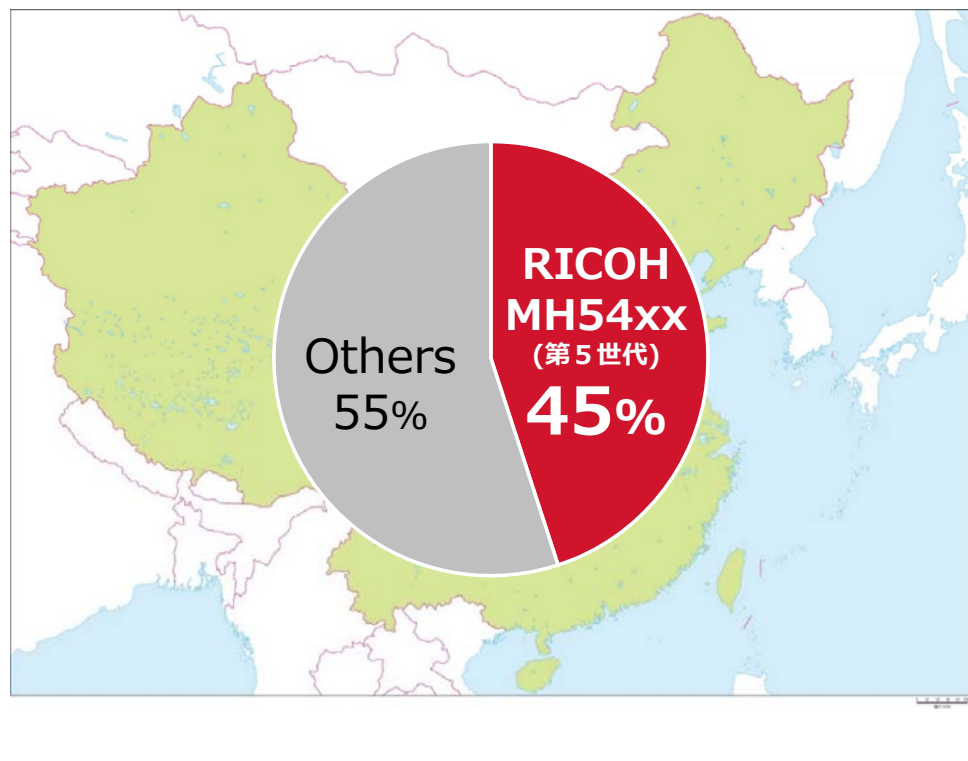
領域別戦略	施策	FY18までの成果	FY22 KPI
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国サイングラフィックス市場 No.1の維持・拡大とテキスタイル市場での事業拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強みを生かしたサイングラフィックス市場での事業拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サイングラフィックス市場向けIJヘッド トップシェア獲得 (シェア<b>45%</b>*1)</li> <li>● インク対応力/高生産性/安全性を向上させた第6世代のMHシリーズを投入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UVプリンタ搭載 シェア<b>64%</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テキスタイル市場への本格参入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テキスタイル市場に参入 シェア<b>5%</b>獲得*2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テキスタイルプリンタ搭載シェア<b>30%</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低価格シリコン薄膜ヘッドによる事業拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大量生産による低コスト化</li> <li>● 高速プリンタ向けシングルパスヘッドの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低価格化、ワンパス化に対応できるシリコン薄膜ヘッドを投入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薄膜ヘッド売上 <b>80億円</b></li> </ul>



\*1 : UVプリンタ搭載ヘッドシェア。リコー調べ  
\*2 : テキスタイル市場向けIJヘッドシェア。リコー調べ

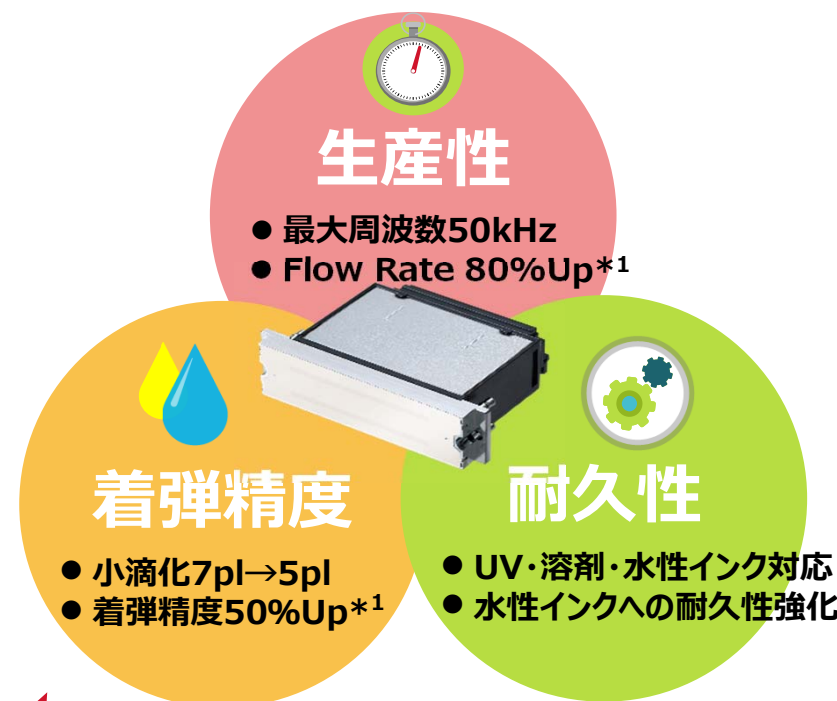
# ■ プリントヘッド/インク (製品紹介)

- リコー第5世代のMHシリーズは中国サイングラフィックス市場のIJヘッドシェアNo.1を獲得



出所： Shanghai Ad & Sign Expo 2018のUVプリンタにおけるリコー製IJヘッド採用率。リコー調べ

- 多様なアプリケーションインクの対応力を強化した第6世代のMHシリーズを2019年から投入



**New** 第6世代のMHシリーズ(MH5320/5340)

\*1： 前身機種MH54xxシリーズとの比較

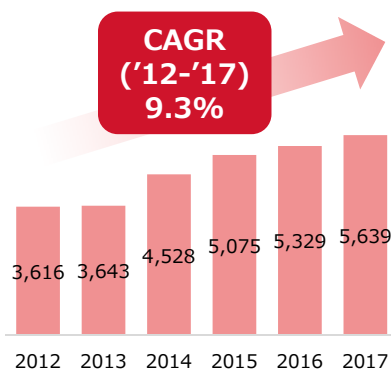
# テキスタイル&ワイドフォーマットプリンタ（これまでの取組み）

## 市場動向

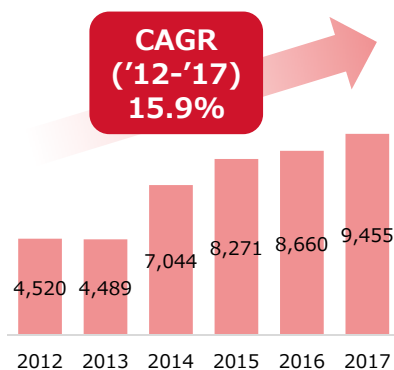
### <装飾・サイングラフィックス分野、加飾・Deco分野>

- UVとLatexプリンタの高い成長が見込まれる

UV Inkjet Printer (WW台数)



Latex Inkjet Printer (WW台数)



Source : Keypoint Intelligence

### <DTG・テキスタイル市場>

- アナログ捺染による排水汚染が問題視されており、デジタル印刷化ニーズが高まっている
- Tシャツ需要のデジタル印刷化率は5%、テキスタイル市場は3%にとどまっており、今後の市場拡大が期待できる

\*1 : 高性能プリントヘッドの三列配置による高速画像印刷技術

## リコーの強み

- 3スタガ技術\*1による高生産性と高精細印刷の両立
- 自社プリントヘッド+自社インク+プリンタで培ったシステム技術
- 豊富なワークフローソリューション製品

## これまでの取組みと成果

- 装飾・サイングラフィックス分野向けのワイドフォーマットプリンタを新たに投入



RICOH Pro L5160

- 加飾・Décor分野向けのワイドフォーマットプリンタを投入



RICOH Pro T7210

- USを中心とした中小規模の顧客をターゲットに、4機種のDTGプリンタを開発・投入
- ワイドフォーマットプリンタをテキスタイル用途に機能拡張し提供



# テキスタイル&ワイドフォーマットプリンタ（事業戦略）



## 主要 事業戦略

特定領域への競争力のある製品の投入によるトップシェアの獲得

2022年度  
売上高目標：200億円～

### 領域別戦略

- DTG分野におけるシェア向上

- リコーグループの販売・サービス網の活用

- トップシェアの獲得  
(2022年度)

事業拡大による  
収益拡大ステージ

- テキスタイル分野での事業拡大

- デジタルマイクロファクトリー構想の展開

- 売上高：  
**100億円**  
(2022年度)

将来に向けた  
積極投資ステージ

- 軟包装／ラベル・パッケージ分野への参入を見据えた技術開発

- Key技術開発の加速  
高速印刷のシステム技術開発  
安全な高密着性インクの開発

- 早期事業参入

将来に向けた  
積極投資ステージ

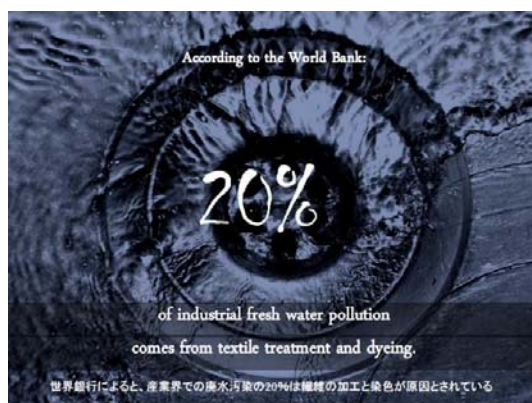
# ■ テキスタイル&ワイドフォーマットプリンタ（対象市場の拡大）

装飾・サイングラフィックスで培ったマシン・ヘッド・インクの技術を新たな市場へ広げるとともに  
ワークフロー用ソフトウェアを活用したテキスタイル市場のバリューチェーン変革を目指す



# ■ テキスタイル市場の環境負荷低減への挑戦

アナログ捺染による排水汚染など、テキスタイル業界が環境に与える影響は大きい。  
環境に優しい水性顔料インクを使った印刷システムの提供により環境負荷低減に取り組む



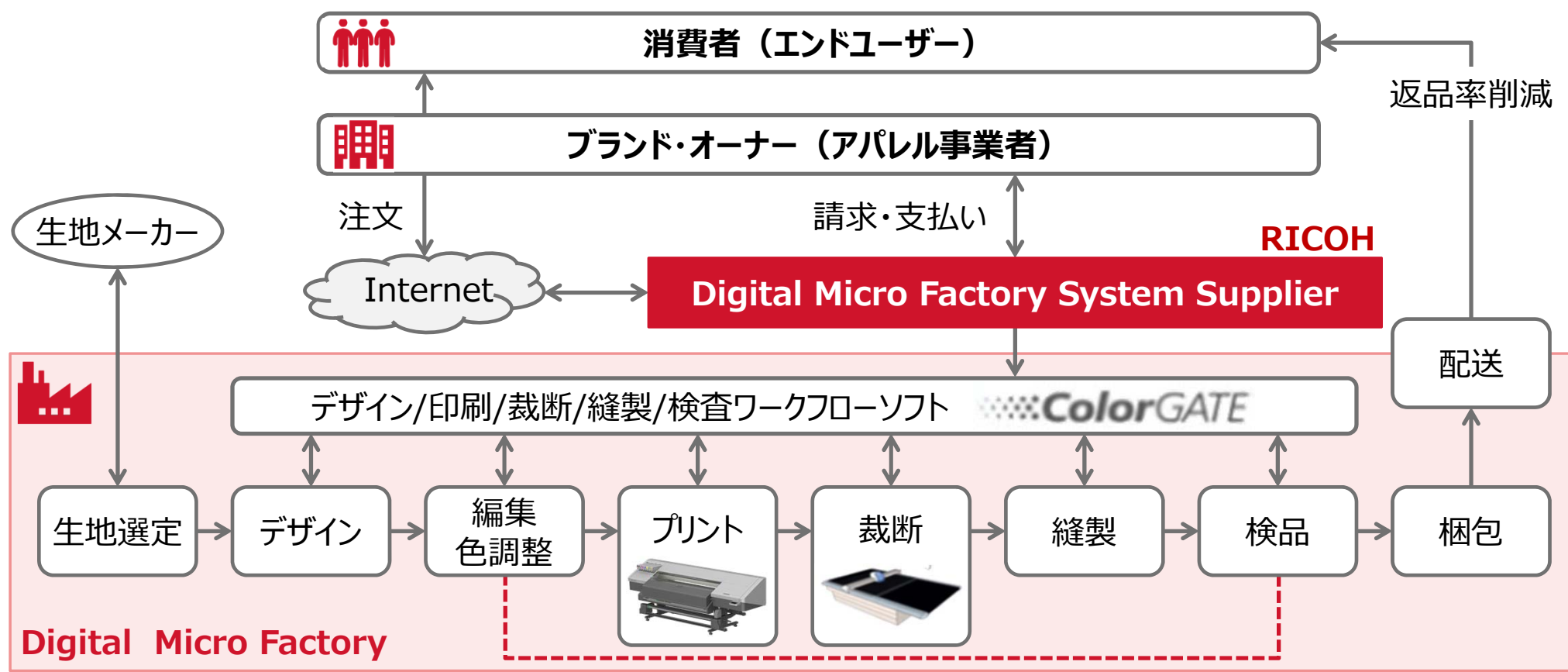
\* Textile exchange様より資料提供

# デジタルマイクロファクトリー構想

衣料生産プロセスにおける  
環境負荷軽減



アパレル市場における  
バリューチェーン変革



**リコーは産業印刷ソリューションによって  
安心・安全な衣・食・住のグローバル環境をリードします**



**リコーのインクジェット技術により社会問題の解決に貢献する**  
Ricoh's inkjet technology helps resolve social issues



# 産業印刷事業 (ビジョン)

## Textile



衣clothing



## Label/Packaging/ Corrugate



食food



## Decoration



住housing



## Sign Graphics



Painting



リコーのインクジェット技術により社会問題の解決に貢献する  
Ricoh's inkjet technology helps resolve social issues

# 2022年度 目標

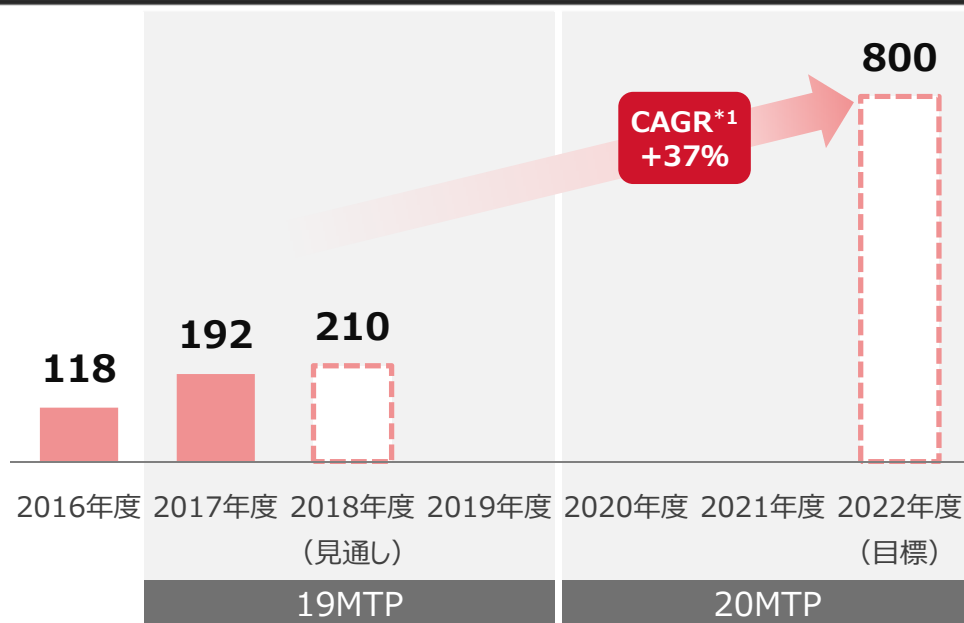
## 2022年度 目標値

売上高 800億円  
営業利益 100億円

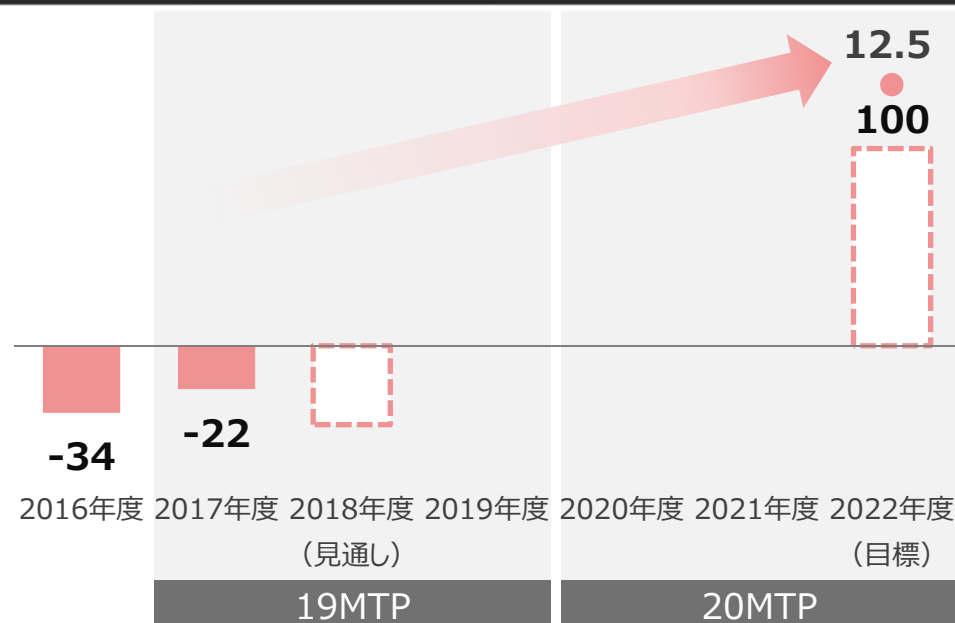
<主要戦略(さらなる成長に向けて)>

「デジタルマイクロファクトリーの実現」により、お客様の提供価値拡大と環境負荷軽減を両立し、新しい産業印刷の未来を切り開く

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円) / 営業利益率 (%)



\*1 : 2016年度から2022年度にかけての年平均成長率

**RICOH**

imagine. change.



## ■ 本資料に関するご留意事項

本資料に記載されている、リコー(以下、当社)現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにのみ全面的に依拠なされないようお願い致します。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、 a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、 b) 為替レートの変動、 c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、 d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。(参照:「事業等のリスク」

<http://jp.ricoh.com/IR/risk.html>)

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。

投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

● **2018年度見通しの数字は、第3四半期決算時点の見通しとなっております。**

● **本資料における年号の表記：4月から始まる会計年度の表記としております。**

(例) 2018年度 (FY2018) : 2018年4月から2019年3月までの会計年度